

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和4年1月2日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		国の定めた基準以上のスペースを確保しています。また療育と余暇のスペースを分けています。	今後も療育と余暇のスペースを分けて過ごしやすいスペースの確保に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切である	○		国の定めた基準以上の人員を満らし、利用児童に合わせた配置に努めています。	今後も継続して、適切な配置に努めてまいります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		屋内は段差を無くし、バリアフリーとなっていますが、事業所が2階にあるため階段の上り下りの際には必ず複数で対応しています。	今後も一人ひとりに応じた適切な環境設定に努めてまいります。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎日の引き継ぎ時や、月二回のリフレクション会議にて振り返りや業務改善に努めています。	今後も同様に会議を開き、全職員で業務改善に努めてまいります。
業務改善	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている	○		毎年評価アンケートを実施しており、ご意見を把握し、ご意見に沿った業務改善に努めています。	今後も評価アンケートを参考に業務改善に努めてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も結果は公式 Web サイトで公開してまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に社内研修を実施しています。	今後も研修を通して職員の資質の向上を図ってまいります。コロナウイルスが落ち着き次第、外部研修にも積極的に参加してまいります。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約時、更新時などに必ず児発管がアセスメントを実施し、客観的に分析したうえで児童の状況や、保護者様のニーズに沿った支援計画を作成しています。	今後も適切にアセスメントを実施し、利用児童、保護者様に沿った支援計画の作成に努めてまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一化されたアセスメントシートを使用しています。	今後も統一化されたアセスメントシートを使用し、利用児童の把握に努めてまいります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児発管を中心に職員全体で話し合い活動プログラムの立案をおこなっています。	今後も職員全体で話し合い、より利用児童に沿った活動プログラムを立案してまいります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個別の療育だけでなく、集団療育も適宜おこない、固定化しないように工夫しています。	今後も活動プログラムが固定化しないように取り組んでまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は個々にあった学習内容を設定しています。長期休暇や休日には、集団での関わり方の学びなどを取り入れて、楽しく過ごせる工夫をしています。	今後も個々の児童の状況と支援計画を考慮して、平日、休日、長期休暇時の課題を検討してまいります。休日、長期休暇は日頃できない製作等の充実したプログラムも実施してまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動だけでなく、集団療育もおこない、児童の発達状況や保護者様のニーズに沿った支援計画を作成しております。	今後も引き続き、個々の状況に合わせて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ支援計画を立案してまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日の引き継ぎの中で、送迎や療育担当など1日の動きを確認しています。	今後も同様に担当や役割を話し合い、引き継ぎ等を確認してまいります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	○		支援終了後に出勤している職員で振り返り、翌日の引き継ぎでも、利用児童の様子など、振り返りと気づき等を共有しています。	今後も同様に引き継ぎをおこない、振り返りを継続してまいります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援内容は経過記録にて記録しています。療育、体調等の気付いたことなども記録をとり、支援の検証・改善に取り組んでいます。	今後も同様に記録を徹底し、検証改善につなげてまいります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月を目処にモニタリングを実施し、支援計画を見直しています。	今後も同様に支援計画の見直しをおこない、より利用児童に適した計画の作成に努めてまいります。
関係機関や保護者との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援が必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容を設定できるよう努めています。	今後もガイドラインに沿った項目を選択し、適切な支援ができるように努めてまいります。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本的に児発管や専門職の児童の状況を熟知したふさわしい者が担当者会議に参画しています。	今後も児発管や専門職が参画してまいります。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		保護者様から学校行事や時間変更を教えてくださいます。学校とは主に送迎時に情報共有し、連携を図って、下校時間等の確認等連絡調整を実施しています。	今後も連絡調整を適切に実施して、保護者様や学校との連携を図ってまいります。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		担当者会議にて関係機関との情報共有に努め、相互理解を図っています。	今後も関係機関との連携に努めてまいります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		関係機関や学校と情報共有をする会議に参加し、卒業後にスムーズに引き継ぎできるようにしています。	今後も同様に、支援内容等の情報を詳しく提供しスムーズに移行できるように努めてまいります。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関との情報交換や共有を図り、助言や研修を受け連携に努めています。	今後も情報共有や共有に努め、連携を図ってまいります。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現在コロナ禍であるため事業所外の児童との活動は実施できておりません。	コロナ収束後に、保護者様のご意向を伺いながら、交流機会を検討してまいります。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	○		現在コロナ禍であるため自立支援協議会への参加はできていません。	今後コロナウイルスが収束次第、積極的に参加してまいります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やお迎え時に、今日の様子や療育内容などをお伝えし、共通理解を図っています。	今後も、保護者様と共通理解に努めてまいります。
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		家庭連携等にて子育てのお悩みへの対応に努め、ペアレント・トレーニング等の支援を実施しています。	今後もペアレント・トレーニングをはじめとして保護者様への支援を継続しお悩みを一緒に解決し、ご家族に寄り添える支援ができるよう努めてまいります。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に運営規程や利用者負担額について丁寧な説明に努めています。	今後も丁寧な説明を心がけてまいります。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時やお迎え時、家庭連携にてご相談に応じ、助言に努めています。	今後も、保護者様に適切に助言できるような職員のスキルアップを図ってまいります。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今年度はコロナ禍のため父母の会を開催する機会はありませんでした。	コロナ収束後には、保護者会や保護者様同士で意見や情報を交換できる場を検討してまいります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時、モニタリングの際にも再度苦情窓口をお伝えしています。ご相談やお申入れがあった場合は、迅速に対応し早期の問題解決を図っております。	今後もご意見にはできるだけ迅速に対応し早期解決に向けてまいります。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		COMPASS だよりを季刊発行し、公式 Web サイトのブログでは隔月で活動や児童の成長をご紹介しております。	今後もお便りやブログを通して、活動内容などを発信してまいります。
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報に関しては、鍵付きの書庫にて保管しています。	今後も個人情報には十分注意してまいります。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		児童や保護者様に伝わりやすいよう口頭だけでなく、様々な方法で意思の疎通、情報伝達を図っています。	今後も伝わりやすい方法で情報伝達してまいります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		現在コロナ禍であるため、地域との交流はできていません。	コロナ収束後には保護者様のご意向をお聞きしたうえで、地域との交流も検討してまいります。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各マニュアルは事業所に掲載し、モニタリングの際にも再度説明をしています。またマニュアルに沿った訓練を定期的実施し、訓練についてはモニタリング時にもお伝えしています。	今後もマニュアルを更新し、今後も訓練を重ね、非常事態に備え、対応できるよう努めてまいります。
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年度初めに年間計画を立て、定期的に様々な災害を想定した訓練を実施しています。	今後も訓練を重ね、非常事態に備え対応できるよう努めてまいります。	
非常時の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止の研修を実施し、虐待防止について周知しています。	今後も事業所内での研修を継続し、職員の意識向上に努めてまいります。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		原則として契約書で禁止になっていますが、やむを得ず必要となる場合には、保護者様に十分な説明のうえ、承諾を得て支援計画に記載するようにしています。	今後も原則として身体拘束はおこなわない基本姿勢を守り、やむを得ず必要となる場合には、あらかじめ保護者様に同意を得て、支援計画にも記載してまいります。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーについては初回アセスメントの際に保護者様から聞き取り、全職員への周知・情報共有を徹底し、医師の指示書がある場合は、指示書に基づいた対応に努めています。	情報は定期的に更新に努め、今後も職員への周知を徹底し、食物の提供をおこなう場合には、細心の注意を実施してまいります。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが起こった場合は、報告書を作成し、勉強会を設け情報共有に努めています。	引き続き事例を情報共有し、全職員で意識して再発防止や児童が安全に過ごせるように努めてまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。